



令和元年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年11月7日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社
コード番号 2533 URL <https://www.oenon.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 牛込 真澄

TEL 03-3575-2777

四半期報告書提出予定日 令和元年11月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和元年12月期第3四半期の連結業績(平成31年1月1日～令和元年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
元年12月期第3四半期	54,812	2.1	1,075	27.0	1,056	20.6	626	295.1
30年12月期第3四半期	55,976	0.2	847	12.1	875	12.7	158	70.4

(注) 包括利益 元年12月期第3四半期 607百万円 (164.6%) 30年12月期第3四半期 229百万円 (52.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
元年12月期第3四半期	10.37	
30年12月期第3四半期	2.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
元年12月期第3四半期	49,440	21,246	38.9
30年12月期	53,251	21,190	35.8

(参考) 自己資本 元年12月期第3四半期 19,210百万円 30年12月期 19,074百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年12月期				7.00	7.00
元年12月期					
元年12月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和元年12月期の連結業績予想(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,500	2.1	1,800	13.7	1,800	12.1	1,100	134.3	18.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想の修正については、令和元年10月30日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	元年12月期3Q	65,586,196 株	30年12月期	65,586,196 株
期末自己株式数	元年12月期3Q	5,151,951 株	30年12月期	5,155,569 株
期中平均株式数(四半期累計)	元年12月期3Q	60,432,631 株	30年12月期3Q	60,430,824 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

○第3四半期決算 参考資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦への懸念により、海外経済に不確実性が高まっているものの、雇用情勢や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調となりました。

このような経営環境の下、当社グループは中長期戦略「長期ビジョン100」の実現に向けた「中期経営計画2023」を策定し、当社グループの持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を図るべく、「長期ビジョン100」で掲げた重要課題である5本の柱を軸とした取組みを進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、54,812百万円（前年同期比2.1%減）となりましたが、利益面では、営業利益は1,075百万円（前年同期比27.0%増）、経常利益は1,056百万円（前年同期比20.6%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は626百万円（前年同期比295.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

販売実績

セグメントの名称	アイテム	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至令和元年9月30日) (百万円)	前年同期比 (%)	
酒類	和酒部門	焼酎	28,239	99.7
		チューハイ	6,320	117.8
		清酒	2,801	90.6
		合成清酒	1,820	96.8
		販売用アルコール	4,747	91.8
		みりん	593	149.8
			44,522	100.6
	洋酒部門	3,495	79.2	
その他の部門	435	51.5		
		48,453	97.9	
加工用澱粉		2,786	96.4	
酵素医薬品		3,289	98.7	
不動産		251	102.7	
その他		31	229.7	
合 計		54,812	97.9	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

【酒類事業】

酒類事業については、国内の人口減少や少子高齢化、飲酒機会の減少により市場の伸張が期待しにくく、価格競争も激化しております。このような環境の下、消費者の嗜好の変化や多様化に対応すべく商品の拡充を行いました。売上高は48,453百万円(前年同期比2.1%減)となりました。しかしながら、利益面につきましては、コスト削減等の効果もあり、135百万円の営業損失(前年同期は311百万円の営業損失)となりました。

和酒部門のうち焼酎においては、甲類焼酎の「北海道ビッグマン」シリーズ、本格焼酎の「博多の華」シリーズ、甲類乙類混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」などが好調に推移したものの、PB商品の減少により売上高は減少いたしました。甲類焼酎をはじめとする「ビッグマン」シリーズでは、北海道エリアにおいて、2019年ラグビー日本代表のリーチ マイケル氏を起用しTVCMを放映するなど、地域における強みを活かした展開を進めております。同シリーズ「ビッグマントチューハイの素」は従来のアルコール分20%の甲類焼酎に比べ、手軽に強炭酸サワーを作ることができるだけでなく、ペット容器の小型化や輸送費の削減に繋がる環境配慮型商品として発売いたしました。また、来年発売40周年を迎える本格焼酎「博多の華」シリーズでは、シェア拡大に向け、「The Rich」「The D r y」を発売し、クローズドキャンペーンなど販促施策を継続的に実施しております。

チューハイ、カクテルなどの低アルコール飲料においては、「NIPPON PREMIUM」シリーズやPB商品が好調に推移し、売上高は増加いたしました。「NIPPON PREMIUM」シリーズでは、しそ焼酎「鍛高譚(たんたかたん)」に使用している赤シソを使用した「北海道産赤しそのチューハイ」、期間限定商品「福井県産

梅のチューハイ」がラインアップに追加されております。

清酒においては、市場の低迷が続いておりますが、純米吟醸酒でありながらお手頃な価格を実現した「福德長 米だけのす〜っと飲めてやさしいお酒 純米吟醸酒パック」が好調に推移しております。また、「純米原酒 北の誉 侍 ひやおろし」「純米 大雪乃蔵 ひやおろし」を季節限定で発売いたしました。

販売用アルコールにおいては、北海道胆振東部地震の影響を受けた苫小牧工場の復旧工事が完了し、本格的な稼働を再開したものの、震災の影響により売上が大きく減少しております。

洋酒部門においては、旭川工場・湯沢工場製造の輸出用ジンが大変好調に推移しましたが、PB商品の減少により、売上高は減少いたしました。

【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業については、ビール用グリッツやシリアル食品用が増加したものの、菓子食品用が減少したため、売上高は2,786百万円(前年同期比3.6%減)となりました。しかしながら、売上単価の上昇や経費削減の効果もあり、営業利益は103百万円(前年同期比14.3%増)となりました。

【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業については、国内の生産支援ビジネスが増加したものの、酵素部門における海外での販売が減少したため、売上高は3,289百万円(前年同期比1.3%減)となりました。しかしながら、原価の低減や国内酵素での製品構成の影響等により、営業利益は953百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

【不動産事業】

不動産事業については、売上高は251百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は144百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、49,440百万円となり、前連結会計年度末と比較し3,811百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

負債につきましては、28,193百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,867百万円の減少となりました。これは主に未払酒税の減少等によるものであります。

純資産につきましては、21,246百万円となり、前連結会計年度末と比較して56百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度末との比較・分析を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、令和元年8月5日に公表いたしました業績予想を令和元年10月30日に下表のとおり修正いたしました。

詳細につきましては、同日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

令和元年12月期 通期連結業績予想数値の修正（平成31年1月1日～令和元年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 76,000	百万円 1,650	百万円 1,700	百万円 1,000	円 銭 16.55
今回修正予想（B）	75,500	1,800	1,800	1,100	18.20
増減額（B－A）	△500	150	100	100	
増減率（%）	△0.7	9.1	5.9	10.0	
（ご参考）前期実績 （平成30年12月期）	77,151	1,582	1,605	469	7.77

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,251	1,517
受取手形及び売掛金	18,654	14,135
有価証券	12	—
商品及び製品	5,793	6,104
仕掛品	187	220
原材料及び貯蔵品	1,179	769
その他	462	279
貸倒引当金	△10	△6
流動資産合計	27,530	23,020
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,427	25,604
減価償却累計額	△19,187	△19,560
建物及び構築物(純額)	6,240	6,044
機械装置及び運搬具	32,115	32,519
減価償却累計額	△28,805	△29,082
機械装置及び運搬具(純額)	3,309	3,437
土地	9,832	9,708
建設仮勘定	2,719	3,886
その他	2,036	1,979
減価償却累計額	△1,879	△1,852
その他(純額)	157	126
有形固定資産合計	22,260	23,202
無形固定資産		
のれん	136	89
その他	344	293
無形固定資産合計	481	382
投資その他の資産		
投資有価証券	1,676	1,570
繰延税金資産	962	950
その他	346	319
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,980	2,835
固定資産合計	25,721	26,420
資産合計	53,251	49,440

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,811	3,864
電子記録債務	1,311	1,204
短期借入金	3,550	4,700
未払金	4,280	3,611
未払酒税	8,810	5,178
未払法人税等	292	75
賞与引当金	58	379
役員賞与引当金	35	25
災害損失引当金	116	—
設備関係支払手形	373	62
設備関係電子記録債務	1,797	1,604
その他	1,479	820
流動負債合計	26,919	21,526
固定負債		
長期借入金	—	1,500
長期預り金	3,351	3,412
繰延税金負債	200	163
役員株式給付引当金	36	49
退職給付に係る負債	1,313	1,329
資産除去債務	114	114
その他	125	96
固定負債合計	5,141	6,667
負債合計	32,061	28,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,597	5,598
利益剰余金	7,283	7,483
自己株式	△1,194	△1,193
株主資本合計	18,632	18,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465	387
繰延ヘッジ損益	△2	1
退職給付に係る調整累計額	△20	△13
その他の包括利益累計額合計	442	375
非支配株主持分	2,115	2,036
純資産合計	21,190	21,246
負債純資産合計	53,251	49,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至令和元年9月30日)
売上高	55,976	54,812
売上原価	45,636	44,668
売上総利益	10,339	10,143
販売費及び一般管理費	9,492	9,067
営業利益	847	1,075
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	21
受取賃貸料	64	57
雑収入	43	37
営業外収益合計	130	116
営業外費用		
支払利息	62	50
シンジケートローン手数料	-	20
為替差損	4	34
雑損失	34	30
営業外費用合計	101	135
経常利益	875	1,056
特別利益		
固定資産売却益	5	7
保険差益	-	3
保険解約返戻金	-	4
その他	2	-
特別利益合計	7	15
特別損失		
固定資産除売却損	48	29
事業再編損失	249	70
災害による損失	213	2
その他	7	0
特別損失合計	519	102
税金等調整前四半期純利益	363	969
法人税等	218	296
四半期純利益	145	673
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	47
親会社株主に帰属する四半期純利益	158	626

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至令和元年9月30日)
四半期純利益	145	673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△77
繰延ヘッジ損益	19	3
退職給付に係る調整額	62	7
その他の包括利益合計	83	△66
四半期包括利益	229	607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244	559
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	47

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

有形固定資産の減価償却の方法については、従来、当社及び連結子会社は、定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法)を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より全ての有形固定資産について定額法に変更しております。

当社グループは、本格焼酎・混和焼酎の増売や酵素医薬品事業における生産支援ビジネスの展開などグループの強みを活かした事業の拡大を積極的に行ってまいりました。しかしながら、現在における酒類事業を取り巻く環境は、国内の人口減少や少子高齢化並びに飲酒機会の減少により市場の伸張が期待しにくく、また、酵素医薬品事業においては、競合他社との価格競争及び遺伝子組換え製品の参入など、競争環境は激化していくことが予想されます。

このような背景から中期経営計画の見直しを行い、令和元年度を初年度とする「中期経営計画2023」を策定いたしました。新たな中期経営計画においては既存設備による生産効率の向上及び安定的な生産供給に比重を置いた方針を定めており、これに基づく設備投資計画では設備の維持及び更新投資が中心となっております。この結果、今後は効率的な生産体制のもとで長期安定的な設備の稼動が見込まれております。これを契機とし、有形固定資産の減価償却方法について再検討を行った結果、長期安定的な使用実態のもとでは、使用期間にわたり費用を均等に負担させることが事業の実態をより適切に反映する合理的な方法であると判断し、減価償却方法として定額法を採用することにいたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ189百万円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	49,496	2,888	3,331	244	55,962	13	—	55,976
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	4	—	—	—	4	—	△4	—
計	49,501	2,888	3,331	244	55,966	13	△4	55,976
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△311	90	918	142	839	7	—	847

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。
 2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。
 3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成31年1月1日 至 令和元年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	48,453	2,786	3,289	251	54,781	31	—	54,812
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	10	—	—	—	10	—	△10	—
計	48,464	2,786	3,289	251	54,791	31	△10	54,812
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△135	103	953	144	1,066	9	—	1,075

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。
 2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。
 3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項 (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却の方法については、従来、当社及び連結子会社は、定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法)を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より全ての有形固定資産について定額法に変更しました。この変更により、従来の方法によった場合に比べて、セグメント利益は、加工用澱粉において6百万円、酵素医薬品において59百万円、不動産において3百万円、その他において0百万円それぞれ増加し、セグメント損失は、酒類において120百万円減少しております。

令和元年12月期 第3四半期決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. セグメント別売上高
3. 利益増減要因
4. 要約連結貸借対照表
5. 連結業績予想
6. 予想売上高

オエノンホールディングス株式会社

令和元年11月7日

1. 要約連結損益計算書

百万円未満切捨て

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成30年 1月 1日 至平成30年 9月30日	自平成31年 1月 1日 至令和元年 9月30日		
酒類事業	49,496	48,453	△ 1,043	97.9
加工用澱粉事業	2,888	2,786	△ 102	96.4
酵素医薬品事業	3,331	3,289	△ 42	98.7
不動産事業その他	258	282	24	109.4
売上高	55,976	54,812	△ 1,163	97.9
売上原価	45,636	44,668	△ 967	97.9
売上総利益	10,339	10,143	△ 196	98.1
販売費及び一般管理費	9,492	9,067	△ 424	95.5
酒類事業	△ 311	△ 135	175	-
加工用澱粉事業	90	103	12	114.3
酵素医薬品事業	918	953	35	103.8
不動産事業その他	149	154	4	103.2
営業利益	847	1,075	228	127.0
営業外収益	130	116	△ 14	89.2
営業外費用	101	135	33	133.3
経常利益	875	1,056	180	120.6
特別利益	7	15	8	205.2
特別損失	519	102	△ 417	19.7
税金等調整前四半期純利益	363	969	605	266.5
法人税等合計	218	296	78	135.9
四半期純利益	145	673	527	461.8
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 12	47	59	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	158	626	467	395.1
1株当たり四半期純利益※円	2.62	10.37	7.75	395.8

2. セグメント別売上高

百万円未満切捨て

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成30年 1月 1日 至平成30年 9月30日	自平成31年 1月 1日 至令和元年 9月30日		
焼酎	28,329	28,239	△ 90	99.7
（甲類焼酎）	(10,755)	(10,489)	(△ 265)	(97.5)
（乙類焼酎）	(17,574)	(17,749)	(175)	(101.0)
チューハイ	5,366	6,320	953	117.8
清酒	3,093	2,801	△ 291	90.6
合成清酒	1,881	1,820	△ 60	96.8
アルコール	5,169	4,747	△ 422	91.8
みりん	395	593	197	149.8
洋酒	4,414	3,495	△ 919	79.2
その他	845	435	△ 409	51.5
酒類計	49,496	48,453	△ 1,043	97.9
加工用澱粉	2,888	2,786	△ 102	96.4
酵素医薬品	3,331	3,289	△ 42	98.7
不動産	244	251	6	102.7
その他	13	31	17	229.7
合計	55,976	54,812	△ 1,163	97.9

3. 利益増減要因

百万円未満切捨て

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	175	売上高減少による総利益減△170 原材料コストの低下による原価減+132 人件費など販管費の減+423 製品構成の影響等△210
加工用澱粉事業	12	保管費など販管費の減等
酵素医薬品事業	35	生産支援ビジネスの増
不動産事業その他	4	
営業利益	228	
営業外収益	△ 14	
営業外費用	△ 33	シンジケートローン手数料の増
経常利益	180	
特別利益	8	保険解約返戻金等
特別損失	417	事業再編損失等
税金等調整前四半期純利益	605	
法人税等	△ 78	
四半期純利益	527	
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 59	
親会社株主に帰属する四半期純利益	467	

4. 要約連結貸借対照表

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 平成30年12月31日	当第3四半期 連結会計期間 令和元年9月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	1,251	1,517	265	121.2	
受取手形及び売掛金	18,654	14,135	△ 4,518	75.8	季節要因による売上高減
たな卸資産	7,159	7,093	△ 65	99.1	
その他	474	279	△ 195	58.9	
貸倒引当金	△ 10	△ 6	4	-	
流動資産合計	27,530	23,020	△ 4,509	83.6	
建物	5,134	4,864	△ 269	94.7	
土地	9,832	9,708	△ 124	98.7	
その他	7,293	8,630	1,336	118.3	
有形固定資産計	22,260	23,202	942	104.2	
無形固定資産	481	382	△ 99	79.4	
投資有価証券	1,676	1,570	△ 105	93.7	
長期前払費用	125	130	4	103.5	
繰延税金資産	962	950	△ 11	98.8	
その他	220	188	△ 31	85.5	
貸倒引当金	△ 5	△ 5	-	-	
投資その他の資産計	2,980	2,835	△ 145	95.1	
固定資産合計	25,721	26,420	698	102.7	
資産合計	53,251	49,440	△ 3,811	92.8	

	前連結会計年度 平成30年12月31日	当第3四半期 連結会計期間 令和元年9月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,123	5,069	△ 1,054	82.8	
短期借入金	3,550	4,700	1,150	132.4	シンジケートローン
未払金	4,280	3,611	△ 668	84.4	季節要因による売上高減(割戻減)
未払酒税	8,810	5,178	△ 3,632	58.8	季節要因による売上高減
その他	4,153	2,966	△ 1,187	71.4	未払消費税等の減
流動負債合計	26,919	21,526	△ 5,392	80.0	
長期借入金	-	1,500	1,500	-	シンジケートローン
その他	5,141	5,167	25	100.5	
固定負債合計	5,141	6,667	1,525	129.7	
負債合計	32,061	28,193	△ 3,867	87.9	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,597	5,598	1	100.0	
利益剰余金	7,283	7,483	199	102.7	
自己株式	△ 1,194	△ 1,193	0	-	
株主資本合計	18,632	18,834	202	101.1	
その他有価証券評価差額金	465	387	△ 77	83.3	
繰延ヘッジ損益	△ 2	1	3	-	
退職給付に係る調整累計額	△ 20	△ 13	7	-	
その他の包括利益累計額合計	442	375	△ 67	84.8	
非支配株主持分	2,115	2,036	△ 79	96.3	
純資産合計	21,190	21,246	56	100.3	
負債純資産合計	53,251	49,440	△ 3,811	92.8	

自己資本比率※%	35.8	38.9	3.1	
----------	------	------	-----	--

5. 連結業績予想

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 自 平成30年 1月 1日 至 平成30年12月31日	当連結会計年度 自 平成31年 1月 1日 至 令和元年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	68,839	67,451	△ 1,387	98.0
加工用澱粉事業	3,871	3,700	△ 170	95.6
酵素医薬品事業	4,096	3,968	△ 128	96.9
不動産事業その他	343	379	35	110.2
売上高	77,151	75,500	△ 1,651	97.9
売上原価	62,700	61,344	△ 1,356	97.8
売上総利益	14,451	14,155	△ 295	98.0
販売費及び一般管理費	12,868	12,355	△ 512	96.0
酒類事業	213	473	259	221.4
加工用澱粉事業	94	50	△ 44	53.0
酵素医薬品事業	1,087	1,092	4	100.4
不動産事業その他	187	185	△ 2	98.7
営業利益	1,582	1,800	217	113.7
営業外損益	23	0	△ 23	-
経常利益	1,605	1,800	194	112.1
特別損益	△ 889	△ 200	689	-
税金等調整前当期純利益	716	1,600	883	223.4
法人税等合計	226	430	204	190.2
当期純利益	489	1,169	679	238.8
非支配株主に帰属する当期純利益	20	69	49	343.5
親会社株主に帰属する当期純利益	469	1,100	630	234.3

6. 予想売上高

百万円未満切捨て

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 平成30年 1月 1日 至 平成30年12月31日	自 平成31年 1月 1日 至 令和元年12月31日		
焼 酎	40,131	39,527	△ 603	98.5
(甲 類 焼 酎)	(15,001)	(14,511)	(△ 490)	(96.7)
(乙 類 焼 酎)	(25,129)	(25,016)	(△ 113)	(99.5)
チ ュ ー ハ イ	7,342	8,582	1,239	116.9
清 酒	4,544	4,023	△ 520	88.5
合 成 清 酒	2,762	2,593	△ 168	93.9
ア ル コ ー ル	6,040	6,502	461	107.6
み り ん	668	949	281	142.0
洋 酒	6,164	4,647	△ 1,516	75.4
そ の 他	1,184	624	△ 559	52.7
酒 類 計	68,839	67,451	△ 1,387	98.0
加 工 用 澱 粉	3,871	3,700	△ 170	95.6
酵 素 医 薬 品	4,096	3,968	△ 128	96.9
不 動 産	325	336	10	103.2
そ の 他	18	43	24	234.7
合 計	77,151	75,500	△ 1,651	97.9